

【 検 査 】

158 T A R C と非特異的 I g E 半定量又は非特異的 I g E 定量の併算定について

《令和6年5月31日》

○ 取扱い

D015「19」T A R C と「10」非特異的 I g E 半定量又は「10」非特異的 I g E 定量の併算定は、原則として認められる。

○ 取扱いを作成した根拠等

I g E は、気管支喘息やアトピー性皮膚炎等、I 型（即時型）アレルギーに関与する免疫グロブリンである。非特異的 I g E は、I 型アレルギー疾患患者で高値になるため、I 型アレルギー疾患の診断や経過観察に有用であると考えられる。

また、T A R C は、アトピー性皮膚炎患者の重症度マーカーであり、治療薬の選択や変更を検討する指標として、臨床的に有用であると考えられており、非特異的 I g E とは、検査の臨床的意義が異なる。

以上のことから、D015「19」T A R C と「10」非特異的 I g E 半定量又は「10」非特異的 I g E 定量の併算定は、原則として認められると判断した。